

和文表題講演論文の書き方

第2報：必要に応じて副題

Instructions for Manuscript Preparation 2nd Report: Subtitle as Necessary

○冷凍 太郎* (日本橋大工), 空調 花子** (中央工大理), 食品 二郎*** (大富大工)

○ Taro REITO*, Hanako KUCHO** and Jiro SHOKUHIN***

*Department of Mechanical Engineering, Nihonbashi University, Chuo-ku, Tokyo, 103-0011, Japan

**Department of Physics, Chuo Institute of Technology, Meguro-ku, Tokyo, 152-0033, Japan

***Department of Chemical Engineering, Otomi University, Shibuya-ku, Tokyo, 151-0053, Japan

Abstract should be written with 10pt Times New Roman and single-space from here. The length of the abstract is limited within 150 words.

PDF(.pdf) ファイルに変換してから提出する。PDF 変換の設定は高解像度 High quality を推奨するが、ファイルサイズは 5 MB 以下とする。原稿内の和文フォントは明朝体を、英数字は半角文字とし Times New Roman を推奨する。提出期限：2022 年 7 月 8 日 (金)

Keywords: Keyword1, Keyword2, Keyword3, Keyword4, Keyword5

1. 原稿作成要領

原稿は A4 用紙 2 ページ～6 ページとし、本文は 10pt 明朝体を用いて 1 段組みで作成する。1 ページあたり全角 48 文字× 51 行とする。

1.1. 原稿用紙

(1) 用紙サイズ

A4 用紙とする。

(2) 余白

上下左右に以下の寸法で余白を設定する。上部余白にはヘッダーを設け、「ページ番号/全ページ数」を記入する。1 ページ目の下部余白にはフッターを設け、「2022 年度日本冷凍空調学会年次大会講演論文集 (2022.9.7-9, 岡山)」の文字を 8pt 明朝体で記入する。

上余白：25 mm 下余白：25 mm

左余白：20 mm 右余白：20 mm

上部ヘッダー：用紙端から 15 mm

下部フッター：用紙端から 9 mm

2. 原稿書式

Word のスタイル機能を使用すると容易に書式を設定できる。

2.1. 表題

和文表題は 12pt 明朝体強調文字、中央揃えとする。必要に応じて、副題を同じ書体で改行して記す。

英文表題は、書体 10pt Bold Times New Roman とし、前置詞、冠詞を除く単語の先頭文字のみを大文字とする。副題は同じフォントを使用し、副題の先頭文字のみを大文字にして記す。

2.2. 著者

副題から 1 行あけて、著者を記入する。書体は、和文では 10pt 明朝体、英文では 10pt Times New Roman とする。和文、英文ともに、講演者が 35 歳以上の場合は○を、35 歳未満の場合は◎を講演者名の前に記入す

る。(35歳未満の場合、優秀講演賞選考対象者となる。) 英文による著者名は First name FAMILY NAME の順に記し、姓 (FAMILY NAME) は大文字のみを用いる。その下に英文による所属を加える。全ての著者の所属、住所を例にならい記入する。

2.3. Abstract 講演概要

著者所属から2行あけて、Abstractを150語以内で記入する。書体は10pt Times New Roman、両端揃えとする。

2.4. Keywords キーワード

Abstractから1行あけて、英文 keyword を3から5つ、中央揃えで記入する。Keywordの先頭文字のみを大文字とする。

2.5. 本文

Keywordsから2行あける。本文は1段組とする。設定の詳細は「1. 原稿作成要領」に後述する。

2.6. 見出し

章、項、節の見出しは以下の通りとする。見出しの前は1行あける。見出しが続く場合はその限りでない。書体は本文と同じ10pt明朝体であるが、章題のみ強調文字とする。

2.7. 式

式と記号は、10pt 英文フォント斜体字で記述する。ただし、添字は標準体とする。式の前には1行あけ、左側2文字の字下げとする。式番号を右端に記す。本文中では、Eq. (1) とする。

$$G_{in} - F_{in} = p_{in} V_{in} \quad (1)$$

2.8. 図、表、写真など

図などを配置する場合、上下左右の余白にはみ出さないようにする。図などの説明は英文とし、本文中では、Fig.1, Table 1 などと記す。図、表の題目の上下を1行あける。Fig. 1, Table 1 は図、表の例である。

図のみカラーの使用を認めるが、白黒印刷でも内容の把握が可能であるよう配慮する。

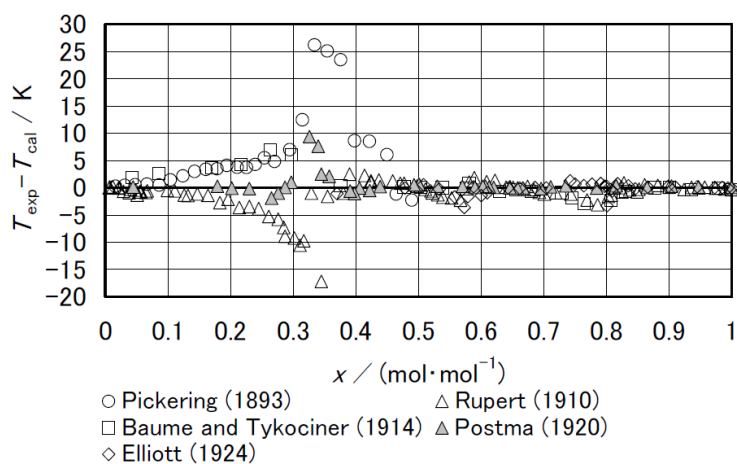


Fig. 1. Deviation of measured freezing point temperatures from correlations by Tillner-Roth[1].

Table 1. Historical data of vapor pressure of ammonia.

Author	Year	T/K	p/MPa	Ref.
Keyes	1918	240-398	0.103-9.96	1
Cragoe	1920	195-343	0.00563-3.31	25
McKelvey	1923	195-195	0.1	26
Beattie	1930	303-405	1.17-11.3	8
Overstreet	1937	176-242	0.0008-0.1114	27

2.9. 参考文献

文献は、本文中で [1], [2,3], [4-7] のように番号で示す。

[例] Keyes ら [1] はアンモニア (NH₃) の飽和蒸気圧…

参考文献の一覧は英文表記にて文末に記載する。記載項目は、本文文末の例を参照のこと。

3. 提出方法

PDF ファイルに変換し、年次大会ホームページ (<https://www.jsrae-nenji.org/nenji2022/>) を通じて提出する。PDF 変換の設定は高解像度 High quality を推奨するが、ファイルサイズは 5MB 以下とする。ファイル容量が上限を超えた場合は、実行委員会でファイル容量を圧縮する必要があることに留意する。なお、ファイル名は、自動的に [講演申込番号].pdf となります。

4. 原稿提出期限

2023 年 7 月 7 日 (金) 必着 (締切厳守)

5. 問合せ先

5.1. 日本冷凍空調学会 2022 年度年次大会実行委員会

E-mail : jsrae22@jsrae.or.jp

5.2. 日本冷凍空調学会事務局

〒 103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町 13-7 日本橋大富ビル 5 階
TEL/FAX : 03-5623-3223/3229

謝辞

(科研費番号など) …

(本文終了)

NOMENCLATURE

- c_p : specific heat at constant pressure, $\text{kJ}\cdot\text{kg}^{-1}\cdot\text{K}^{-1}$
 h : specific enthalpy, $\text{kJ}\cdot\text{kg}^{-1}$
 p : pressure, kPa
 T : temperature, K
 t : Celsius temperature, °C

REFERENCES

- [1] R. Tillner-Roth, J. Li, A. Yokozeki, H. Sato, and K. Watanabe, "Thermodynamic Properties of Pure and Blended Hydrofluorocarbon (HFC) Refrigerants", JSRAE, (1997).
- [2] F. G. Keyes and R. B. Brownlee, The Vapor Pressure of Liquid Ammonia up to the Critical Temperature.[Part II.], Journal of the American Chemical Society, 40(1), (1918), pp. 25–45.
- [3] T. Miyazaki and K. Oguchi, Proc. 2001 JSRAE Annual Conference, Tokyo, (2001), pp. 181–184. (in Japanese)
- [4] J. Shokuhin, Technical report of JSRAE, JSRAE Corp., (2010).
- [5] Wind in power: 2015 European statistics, available from <<http://www.ewea.org/statistics/>>, (accessed on Apr. 14, 2016).

- [6] Y. Higashi and R. Akasaka, Measurements of Thermodynamic Properties for R1123 and R1123 + R32 Mixture, Proceedings of the Sixteenth International Refrigeration and Air Conditioning Conference at Purdue, West Lafayette, Indiana, (2016), Paper ID: 1688.
- [7] G. Myhre, D. Shindell, F. Bréon, W. Collins, J. Fuglestedt, J. Huang, D. Koch, J. Lamarque, D. Lee, B. Mendoza, T. Nakajima, A. Robock, G. Stephens, T. Takemura, and H. Zhang, Anthropogenic and Natural Radiative Forcing. In: Climate Change 2013: The Physical Science Basis. Contribution of Working Group I to the Fifth Assessment Report of the Intergovernmental Panel on Climate Change, Intergovernmental Panel on Climate Change, Cambridge, (2013).
- [8] ASHRAE, Update on New Refrigerants Designations and Safety Classifications, available from <<http://hdl.handle.net/20.500.11822/29025>>, (accessed on Apr. 14, 2016).
- [9] T. Reito, "A Study of Novel Heat Exchanger Designs for High-Efficiency Air-Conditioning Systems", Ph. D. thesis, Nihonbashi University, (2017). (in Japanese)
- [10] H. Kucho, Optimization of Cold Storage Design for Improved Thermal Performance in Supermarket Refrigeration Systems, Master's thesis, Chuo Institute of Technology, (2008). (in Japanese)

LaTeX テンプレート利用者に向けた注釈

概要 本テンプレートは 2023 年度日本冷凍空調学会年次大会講演論文集に対応した LaTeX テンプレートです。MS Word 版テンプレートと可能な限り同じ体裁となるよう調整されています。プレアンブル中の書式設定および本文中の余白の設定 (`\vspace{.}`) は変更しないでください。

参考文献リスト [6] 以降の例を新たに追加しています。具体的には、MS Word 版では例示されていない、ページ番号がなく論文番号 (Paper ID) が付されたプロシーディングス [6]、著者数が非常に多い場合 [7]、web サイト引用で著者名がある場合 [8]、博士論文 [9] および修士論文 [10] の例を参考までに追加しています。